

れいわ ねん ど
令和2年度

だい かいこ さい した ぶん かきようせいしやかいすいしんきようぎかいかい ぎろく
第1回湖西市多文化共生社会推進協議会会議録

きろくしや しみん か こばやし
記録者 市民課 小林

▶ 日 時： 令和2年8月7日(金) 13時30分～15時30分

▶ 場 所： 湖西市民活動センター 2F 大会議室

▶ 出席者： 名和聖高、平野知之、星川弘任、藤浪サルバシオン、末吉由佳

坂本健三、中村哲也、二橋和久、猪井英典、宮崎幸治、宮下智亘

事務局： 市民安全部長、市民課（課長、課長代理兼係長、主任）

▶ 資料： 次第

【資料1】 湖西市多文化共生推進プランの改訂について

【資料2】 令和元年度第2次湖西市多文化共生推進プラン進捗状況について

【資料3】 第2次湖西市多文化共生推進プラン(2016-2020)の取り組み結果

【資料4】 第2次湖西市多文化共生推進プラン(2016-2020)の取り組み結果評価

▶ 次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 経過説明(資料1)

4. 議題

(1) 多文化共生に関する市民意識調査実施状況報告(資料1)

(2) 令和元年度湖西市多文化共生推進プラン進捗状況報告(資料2, 3)

(3) 湖西市多文化共生推進プラン取り組み状況の総括(資料3, 4)

5. 閉会

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 経過説明
4. 議題

(1) 多文化共生に関する市民意識調査実施状況報告(資料1)

◆事務局説明

資料1説明により、市民意識調査実施経過説明。

◆協議会委員の意見・質問 (委員)

外国籍住民のアンケートは、回収数を得るのが難しいと認識しているが、郵送で1,000人を対象にしてどれくらいの回収数を見込んでいるのか。窓口や国際交流協会などで、聞き取って書いてもらうという方法の方が、回収率は上がるのではないかと。

(事務局)

他市の調査結果が20%台前半の回収率というところがほとんどなので、1,000人に郵送して200人の回収を目指している。200人は、有効回収数には届かないものの、傾向をつかむための参考値としては利用できる回収数と捉えている。

(委員)

多くの方の声を集めるためには、郵送調査のみならず、重複回答に注意しながら、窓口などでも回答を依頼するという方法も検討してみたいかがか。

(事務局)

当初は、回答を得やすくするため、対面での調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、郵送調査に切り替えをした。その際、窓口での記入との併用についても、検討を行ったが、重複回答を避けるためには、個人を識別するためのID番号をつける必要があり、回答者にとっては番号があることが回答しにくくなる要因になってしまうと考え断念した経緯がある。

(委員)

技術的などところを工夫して、郵送以外の方法での回答を得ることについてもご検討いただきたい。

(委員)

日本語が読めない方にとっては、回答しにくいのではないかと。

(事務局)

抽出した対象者の国籍に対応して、ブラジル人ならポルトガル語とやさしい日本語の調査票を入れて郵送するようにする。翻訳のある6言語以外については、英語とやさしい日本語の組み合わせで郵送をする。

(2) 令和元年度湖西市多文化共生推進プラン進捗状況報告(資料2,3)

◆事務局説明

資料2,3により、令和元年度湖西市多文化共生推進プラン進捗状況説明。

◆協議会委員の意見・質問

いいん
(委員)

No. 9 静岡県主催の技能実習生対象の日本語教室について、募集はどのように行
っているのか。国際交流協会にも他で日本語を習いたいという方もいるので、案内が
できればと思うが。

じむきょく
(事務局)

県から実習生受入企業や監理団体へ直接募集を行っている。市の産業振興課へ
も募集開始のお知らせは届くようになっている。

いいん
(委員)

共催ということだが、ほぼ県が行っていると考えるとよい事業か。

じむきょく
(事務局)

その通り。市は、場所の提供を行っている。

いいん
(委員)

様々なルートから参加できるよう、県へ要望を行っていくということに取り組んで
いただいてもいいのではないか。

(3) 湖西市多文化共生推進プラン取り組み状況の総括(資料3.4)

◆事務局説明

資料3,4説明により、湖西市多文化共生推進プラン取り組み状況の総括について

説明。

◆ 協議会委員の意見・質問

○基本施策1について

(委員)

先ほどもミャンマー語の通訳がないかという問合せがあった。頻繁とまではいかないが少数言語の問合せはある。何もかもは大変だが、翻訳、通訳業務の強化はやってほしい。

(委員)

多言語化は、どこまでしていくかというところが難しい面もあるが、必要な対策であることは確か。

(委員)

通訳者の設置費用の話が出たが、翻訳技術はどんどん進んでいる。5年後には、通訳が不要になるようなレベルになっているかもしれない。そういった技術を取り入れてほしい。

○基本施策2について

(委員)

今後の方向性に、「Eその他」とあるのはどういったことか。

(委員)

「Eその他」は、取り組みは行方が方向性をや施策そのものを修正していきたいときに使用している。

○基本施策3について

(委員)

事業施策No. 13の支援体制の充実というのは、学校に一番求められていること。

第2次プラン当初は、初期支援の体制がなかったが、平成30年度から湖西国際交流

協会で初期支援を始めていただき、今年度からは市民課で委託事業化がされ、流れが

できてきている。学校現場でも、初期支援を受けることの違いを実感している。交通

手段や受講料金についての課題は残っている。

その他の課題として、通訳職員を募集しても、なり手がなかなか見つからないとい
うこともある。

支援体制の1つとして、県から5台ポケトークが支給され、各校に1台ある状態と
なっている。

○基本施策4について

(委員)

事務局の総評に、企業との意見交換は、時間的にも内容的にも難しいところがあ
る、とあるがいかがか。

(委員)

行政が話しづらいつ感じているのではないかと思うが、そんなことはない。

(委員)

新型コロナウイルスの影響で、解雇が増えてきている状況がある中、連携は大切。

ぎょうせい ふ こ おも
行政は踏み込めないと思っているかもしれないが、やり方を工夫して、取り組みは
けいぞく
継続していただきたい。

いいん
(委員)

にほんごきょうしつ く せいと ほな
日本語教室に来る生徒と話していても、実際に休業や失業の話がある。ハロー
ワークは、そうだん しごと
相談ばかりで仕事につながらないと聞く。日本語ができなくて採用しても
らえないということも聞く。しえん しごと
支援が、仕事までつながってほしいと思う。

いいん
(委員)

しんがた えいきょう げんじょう ふ
新型コロナウイルスの影響による現状を踏まえて、実際の方法を考えていただき
たい。

きほんしきく
○基本施策5について

いいん
(委員)

しゅうりょう
「D終了したい」というのが唯一あるが、たんとうか せってい あ
担当課の設定が合っていないかったという
りかい
理解でよろしいか。

じむきょく
(事務局)

してき とお
ご指摘の通り。この事業・施策については、じき
次期プランにおいては、けんこうほけん ねんきん
健康保険・年金
せいど しほ
制度に絞って取り組んでいくようにしていきたい。

きほんしきく
○基本施策6について

いいん
(委員)

けいさつ ちいき しみん せつ しょくいん けいたいがた
警察においても、地域で市民に接する職員は、携帯型コミュニケーションツールの

けいこう にほんご しょうとく おこな
携行、やさしい日本語の使用など取り組みを行っている。

いいん
(委員)

さいがいじ がいこくじんたいおう
災害時の外国人対応については、

じむきょく
(事務局)

し ぼうさいたいせい がいこくじんたいさくほん たげんご じょうほうはっしん
市の防災体制において外国人対策班がなくなってしまう、多言語での情報発信など

だれ にな き じょうきょう
を誰が担うのか決めていかなければいけない状況にある。

きほんしさく
○基本施策7について

いいん
(委員)

そうむか いしきけいはつ しゅくしょう しみんか しゅたい にちじょう
総務課において、意識啓発を縮小したいというのは、市民課が主体となって日常

ぎょうむ つう けいはつ
業務を通じた啓発にしていこうということによろしいか。

じむきょく
(事務局)

とお
その通り。

きほんしさく
○基本施策8について

しつぎ
質疑なし

いじょう
以上